



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 名

上場会社名 日華化学株式会社

コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門副部門長 (氏名) 澤崎 祥也

TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	33,986	16.2	2,370	11.2	2,490	12.2	1,632	23.6
26年12月期第3四半期	29,247	—	2,132	—	2,218	—	1,321	—

(注)包括利益 27年12月期第3四半期 969百万円 (△53.4%) 26年12月期第3四半期 2,081百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	98.13	—
26年12月期第3四半期	75.13	—

当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、平成25年12月期第3四半期は連結財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	48,241	20,815	37.7	1,158.69
26年12月期	42,056	21,944	45.2	1,080.64

(参考)自己資本 27年12月期第3四半期 18,180百万円 26年12月期 19,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年12月期	—	8.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	12.7	3,000	4.7	3,000	△2.4	2,000	38.3	113.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	17,710,000 株	26年12月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	2,019,016 株	26年12月期	118,967 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	16,641,018 株	26年12月期3Q	17,592,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策により企業業績が好調に推移していることに加え、個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しておりますが、新興国経済の減速や欧州債務問題の再燃等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は339億8千6百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は23億7千万円（同11.2%増）、経常利益は24億9千万円（同12.2%増）、四半期純利益は16億3千2百万円（同23.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①化学品事業

売上高は264億6千1百万円（対前年13.0%増）、セグメント利益は22億1千9百万円（同15.3%増）となりました。

海外では、台湾や韓国においてフッ素系撥水剤の販売が好調に推移した他、香港において大手アパレル向け機能加工剤の販売が増加したことに加え、円安の影響もあり売上高は伸張しました。

国内では、消費支出の低迷や繊維関連の衣料加工の加工量の減少、一部自動車メーカーのリコール問題等によるインテリア関連薬剤や自動車内装材関連薬剤等の繊維加工用薬剤の販売低迷等により厳しい状況となりました。

②化粧品事業

売上高は74億6千5百万円（同28.1%増）、セグメント利益は13億5千万円（同5.6%増）となりました。

美容サロン業界全体が伸び悩む中、当社デミ コスメティクスやイーラル株式会社が堅調に推移したことに加え、山田製薬株式会社において化粧品製造受託事業が大幅に増加したことにより売上高は増加しました。

③その他事業

売上高は5千9百万円、セグメント利益は4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、61億8千5百万円増加し、482億4千1百万円となりました。現金及び預金の増加、たな卸資産の増加、受取手形及び売掛金の増加及び有形固定資産の増加等により、総資産は増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、73億1千4百万円増加し、274億2千6百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加、社債の増加、支払手形及び買掛金の増加及び長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、11億2千8百万円減少し、208億1千5百万円となりました。利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の減少及び自己株式の増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.2%から37.7%となりました。

尚、当第3四半期連結累計期間において、江守エンジニアリング株式会社及び大智化学産業株式会社を子会社化したことにより、個別財務諸表単純合算の総資産は46億8千3百万円増加し、負債は40億1千1百万円増加し、純資産は6億7千2百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が90百万円増加し、利益剰余金が58百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,908,024	7,180,090
受取手形及び売掛金	9,244,167	10,242,800
商品及び製品	2,696,520	3,438,337
仕掛品	821,147	937,920
原材料及び貯蔵品	3,189,553	2,895,152
その他	1,297,074	1,522,156
貸倒引当金	△105,540	△133,633
流動資産合計	23,050,947	26,082,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,073,184	7,588,555
機械装置及び運搬具（純額）	2,511,956	2,403,594
土地	5,342,785	6,346,679
その他（純額）	648,445	2,025,793
有形固定資産合計	15,576,372	18,364,622
無形固定資産		
のれん	247,660	205,983
その他	758,381	816,331
無形固定資産合計	1,006,042	1,022,315
投資その他の資産	2,422,708	2,772,111
固定資産合計	19,005,123	22,159,050
資産合計	42,056,070	48,241,874

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,993,122	5,087,668
短期借入金	6,811,119	13,495,036
未払法人税等	216,967	315,469
賞与引当金	478,000	544,438
その他	2,288,496	2,267,291
流動負債合計	13,787,705	21,709,904
固定負債		
社債	—	586,000
長期借入金	3,069,538	1,735,000
退職給付に係る負債	2,429,118	2,567,906
その他	825,546	827,554
固定負債合計	6,324,203	5,716,461
負債合計	20,111,909	27,426,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	11,303,549	12,611,833
自己株式	△52,541	△1,464,292
株主資本合計	17,189,802	17,086,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	241,355	341,325
為替換算調整勘定	1,640,652	810,621
退職給付に係る調整累計額	△62,255	△57,301
その他の包括利益累計額合計	1,819,752	1,094,645
少数株主持分	2,934,606	2,634,526
純資産合計	21,944,161	20,815,508
負債純資産合計	42,056,070	48,241,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	29,247,335	33,986,993
売上原価	18,833,986	21,828,586
売上総利益	10,413,349	12,158,406
販売費及び一般管理費	8,280,949	9,787,752
営業利益	2,132,400	2,370,653
営業外収益		
受取利息	40,377	41,197
受取配当金	43,276	34,125
持分法による投資利益	76,911	55,245
為替差益	—	156
その他	187,906	198,730
営業外収益合計	348,472	329,456
営業外費用		
支払利息	72,774	70,309
為替差損	42,672	—
売上割引	61,699	59,924
その他	85,038	79,442
営業外費用合計	262,184	209,676
経常利益	2,218,688	2,490,433
特別利益		
固定資産売却益	184,322	43,332
投資有価証券売却益	—	77,821
段階取得に係る差益	—	18,026
負ののれん発生益	—	76,125
受取保険金	28,272	—
特別利益合計	212,594	215,306
特別損失		
固定資産除却損	1,188	18,436
固定資産売却損	102	78,205
関係会社株式売却損	9,980	—
ゴルフ会員権評価損	510	—
特別功労金	150,000	—
社葬費用	18,440	—
特別損失合計	180,220	96,642
税金等調整前四半期純利益	2,251,061	2,609,097
法人税等	752,245	756,958
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815	1,852,138
少数株主利益	177,122	219,146
四半期純利益	1,321,693	1,632,992

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815	1,852,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,057	99,970
為替換算調整勘定	517,618	△987,319
退職給付に係る調整額	28,618	4,953
その他の包括利益合計	582,295	△882,396
四半期包括利益	2,081,110	969,742
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,812,928	907,884
少数株主に係る四半期包括利益	268,181	61,857

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,900,000株を取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,411,700千円増加し、端株購入による増加50千円と合わせ、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は1,464,292千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	23,420,496	5,826,839	29,247,335	29,247,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,002	13,146	14,149	14,149
計	23,421,499	5,839,985	29,261,484	29,261,484
セグメント利益	1,924,943	1,278,531	3,203,475	3,203,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,203,475
セグメント間取引消去	7,232
全社費用(注)	△1,078,307
四半期連結損益計算書の営業利益	2,132,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,461,584	7,465,789	33,927,374	59,618	33,986,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497	17,613	18,110	44,055	62,166
計	26,462,082	7,483,403	33,945,485	103,674	34,049,159
セグメント利益	2,219,400	1,350,447	3,569,847	4,756	3,574,604

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	33,945,485
「その他」の区分の売上高	103,674
セグメント間取引消去	△62,166
四半期連結損益計算書の売上高	33,986,993

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,569,847
「その他」の区分の利益	4,756
セグメント間取引消去	△10,807
全社費用（注）	△1,193,144
四半期連結損益計算書の営業利益	2,370,653

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

化学品セグメントにおいて、平成27年5月29日に台湾日華化学股フン有限公司の株式を取得いたしました。また、その他セグメントにおいて、平成27年5月15日に江守エンジニアリング株式会社の株式を追加取得し、子会社化いたしました。これにより、26,159千円のものれんが増加しております。

（重要な負のものれん発生益）

化学品セグメントにおいて、平成27年6月30日に大智化学産業株式会社の株式を取得し子会社化いたしました。また、平成27年5月29日にニッカU.S.A., INC. 及び広州日華化学有限公司の株式及び出資金を追加取得いたしました。これにより76,125千円のものれん発生益を計上しておりますが、特別利益のため報告セグメントには配分しておりません。